

科目名	成人看護Ⅲ (血液造血・呼吸・循環機能障害の看護)					DP1、DP2 DP3、DP4	看護高等課程
学年	1年	分野	専門 成人看護	時間数	25時間	担当 教員	外部講師
科目 概要	看護職者として必要な血液造血・呼吸・循環機能に障害のある患者の看護について学ぶ。						
到達 目標	1. 主な血液・造血器疾患の看護の目的、特徴を知り、治療に伴う看護を理解する。 2. 主な呼吸器の疾患の看護の目的、特徴を知り、治療に伴う看護を理解する。 3. 主な循環器の疾患の看護の目的、特徴を知り、治療に伴う看護を理解する。						
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員
1～4	血液・造血機能障害の看護	血液・造血器疾患の基礎知識 血液のはたらきと造血のしくみ、おもな症状と病態生理、おもな検査、おもな治療・処置 おもな疾患の看護 白血病（骨髄移植）、骨髄腫、DIC クリーンルーム、共通する看護、おもな症状に対する看護、検査を受ける患者の看護、治療・処置時の介助				講義	外部講師
5～8	呼吸機能障害の看護	呼吸器疾患の基礎知識 呼吸器のしくみとはたらき、症状とその病態生理、おもな検査、おもな治療・処置、おもな手術 おもな疾患 肺がん手術（胸腔ドレナージの管理）、COPD 共通する看護、症状に対する看護、診察・検査を受ける患者の看護、治療・処置時の介助				講義	外部講師
9～12	循環機能障害と看護	循環器疾患の基礎知識 循環器のしくみとはたらき、症状とその病態生理、診察とおもな検査、おもな治療・処置 おもな疾患 虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞：ECGの見方）、心不全、洞不全症候群（ECGの見方、ペースメーカー管理） 共通する看護、症状に対する看護、診察・検査を受ける患者の看護、治療・処置時の介助、心臓リハビリテーション				講義	外部講師
13	試験（1時間）					試験	
評価 基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価 方法	出席状況及び講義・演習への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	新看護学 9 成人看護 [1] 成人看護総論 呼吸器 循環器 消化器 医学書院 新看護学 10 成人看護 [2] 血液・造血器 内分泌・代謝 脳・神経 運動器 [特論]リハビリテーション看護 医学書院 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							